

Certified Nurse



# 認定看護師ニュース NO.39

2024年11月発行  
舞鶴共済病院 看護部 認定看護師会

秋が深まり、夜の寒さが強まってきました。皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は、10月22日・23日にパシフィコ横浜にて開催された、第73回 共済医学学会における発表について報告させていただきます。



## 摂食嚥下障害看護認定看護師 谷口 肇

今回、院内の嚥下食変更の取り組みについて発表しました。嚥下食については、高齢化社会が進むに伴い、必要性は高まってくるものと考えます。今後も嚥下食の内容検討について取り組んでいきたいと考えています。



共済医学会は、全国の連合会病院が集まり開催されています。他の系列病院の取り組みだけでなく、他職種の活動を知る機会にもなり、専門分野の学会とは違った視点で発表を聞くことができました。また、他病院の看護師と意見交換をする機会もあり、横のつながりを感じることでできる学会参加となりました。

## クリティカルケア認定看護師 島 勇二

呼吸サポートチーム(RST)の活動について発表させていただきました。当院のRST活動は、2022年度から開始しています。2023年度からは、呼吸及び全身状態悪化のリスクのある患者さんにも対象を拡大し、現在、件数は3倍に増加しています。ラウンドでは、適宜、ICU入室の提案や治療方針のアドバイス、看護介入やリハビリの推奨などをおこなっています。ラウンド対象の抽出に使用している、早期警告スコア(NEWS)は呼吸回数・意識レベルの確実な入力により、現状よりさらにラウンド対象の選定精度が向上すると考えています。今後も継続した活動を行っていききたいと思います。



## 感染管理認定看護師 森下 由美

「末梢静脈留置カテーテルおよび輸液ライン管理に関するケアの改善活動」という表題で発表しました。院内感染対策チーム(ICT)や看護部の感染対策スタッフ(ICS)と協働して取り組んだ活動でした。約1年半かけてラウンドや電子カルテを活用してケアの徹底を促進した結果、末梢カテ使用者の血液培養陽性率を下げることに影響を与えたと考察しました。現在も、ラウンドや点滴調製台の衛生環境維持のためATP(アデノシン三リン酸)測定を継続しておこなっています。久しぶりの学会発表で緊張しましたが、自分自身の活動を振り返る機会となり、また新たな活動に取り組むモチベーションアップにもつながりました。

